

ねらい：小規模校の子どもたちを集め、学校園の内外において多人数での合同授業や交流学习などの学習機会を様々な場面で
つくることにより、子どもたちの「生きる力」の育成を図る

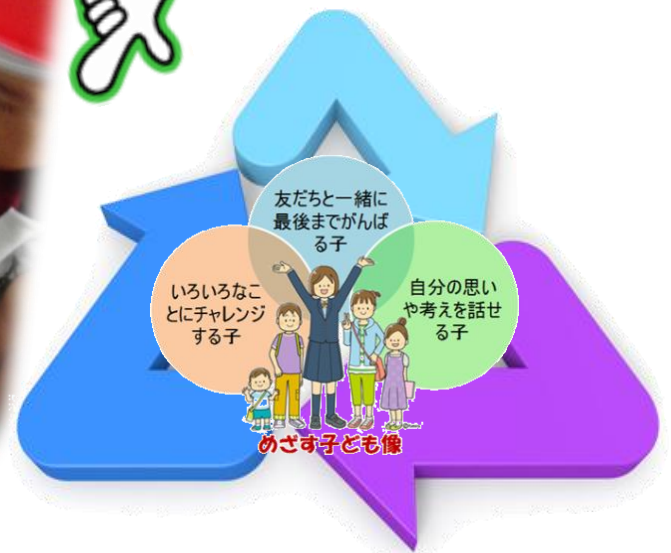


チャレンジ大作戦



(村岡区・小代区、4 幼稚園 5 歳児交流／県立香住高等学校)

「うわぁ～大きいサメだ！」
水槽の中の魚を順番に触って歓声を
あげる子どもたち。
多くの友だちとふれあう中で、さまざ
まなことを学んでいます。



チャレンジ大作戦

1 学校間スーパー連携チャレンジプラン・就学前わくわく交流会

町内の公立幼稚園・認定こども園・保育所が、4つのグループに分かれて、年間10回(月1回)程度、「わくわく交流会」を実施しています。子どもたちはより多くの友だちとふれあい、伝えあい、切磋琢磨する機会を積み重ね、コミュニケーション能力や共同する態度などを身に付けています。さらにこの力が小学校入学後の成長の源となるよう、就学前教育に携わる者が研修を重ね、交流の充実を図っています。



チャレンジ大作戦

2 学校間スーパー連携チャレンジプラン・学力向上ステップアップ授業

(奥佐津小・佐津小・長井小・余部小、6年生・学級討論会の様子／余部小学校)

複数の教員が力を合わせ、小規模校の課題を克服するため、合同による多人数の授業や、少人数にグループ分けした授業を行い、学力向上を目指すとともに、一人一人を認め育てる個に応じた指導により、子どもたちを輝かせる教育に力いっぱい取り組んでいます。子どもたちは自信を持って自分の意見を伝えたり、他校の児童のさまざまな考え方や意見を聞いてしっかりと受けとめ、さらに考えを深め、広げています。チャレンジプランの取組が、各校における普段の授業でも生かされています。



チャレンジ大作戦

3 土曜チャレンジ学習事業

中央公民館を拠点として、土曜日などに異校区、異学年の子どもたちが集まり、自然、歴史、文化、人材に学ぶ体験活動を通じて、地域の価値を見出す交流学习に取り組んでいます。

自主性、主体性を高める体験的な活動をとおり、たくましく生きる力を身につけていきます。

